

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年1月21日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月21日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って、説明をいたします。

まず、1点目が、1月25日の（2）デジタル安全保護系に関する民間規格の技術評価の検討チームです。

民間規格の技術評価を毎年計画的に行っていきまして、今年はデジタル安全保護系についてということになっているものです。今回が第1回目で、今後、この検討チームで技術評価を行った上で、本年度中に技術基準規則の解釈の改正案を出すということになります。

次が、1月27日の（5）ALPS処理水の審査会合です。

ずっと週1ペースでやってきていまして、今回は処理水の放出による環境への影響の評価についての議論があるということのようです。

次が、1月27日の（6）実用炉の廃止措置に関する審査会合です。

今回の議題は、美浜の1・2号炉ということでありまして、前回、11月11日のコメントへの回答などが行われます。

次が、1月28日の（7）核燃料施設等の審査会合です。

議題は常陽でして、前回11月29日のコメントへの回答となります。内容は地震に関してということです。

次が、1月28日の（8）第1027回審査会合です。

議題は、東通の津波評価についてということで、これまでのコメントへの回答があった後に、地震による津波と、地震以外による津波の組合せについて審議が行われる見込みです。

次が、1月28日の（9）検査制度に関する意見交換会合です。

これは新検査制度の開始以降、数ヶ月に1回というペースで事業者と意見交換をするというのをやってきたものであります。

今回は、昨年6月の前回に続いて7回目ということになりまして、議題は3つありまして、1つ目が、今年度の検査の実施状況と改善の取組についての振り返りというのが1つ

目で、2つ目が、事業者のCAP（是正処置プログラム）の運用状況の報告ということで、3つの事業者、北陸と中国と四国の3事業者から説明があるということになります。

議題の3つ目が、核燃料施設等の重要度評価手法についてということで、これは実用する仕組みなのですが、その核燃料施設版について検討状況が報告されるということになります。

最後ですけれども、現地視察のところの（1）柏崎刈羽の特定重大事故等対処施設について、山中委員の現地調査を、既に発表していますけれども、1月25日の予定ということになっております。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、ヤマダさん、お願いします。

○記者 新潟日報のヤマダです。

水曜日の夕方にやりましたKK（柏崎刈羽）の関連の臨時会議の、差し支えのない範囲でなのですが、どのような段階まで進捗状況みたいなものが分かれば教えてください。

○黒川総務課長 引き続き事実関係の確認というようなことをやっています、幾つか、柏崎刈羽とほかの東京電力の1Fとの比較とか、ほかの電力会社との比較みたいなことが議論としてなされています。

引き続き非公開の臨時会議のほうでやってきますけれども、どこかのタイミングで、ずっと非公開ではなくて、どこかで公開でやる必要がありますかね、みたいなことは議論はされているところです。

○記者 ありがとうございます。

どこかのタイミングでというのは、委員長がおっしゃっていたような年度内にもみたいな感じでしたか。

○黒川総務課長 委員長のおっしゃっていることに尽きると思いますけれども、そんな遠からずというところではと思います。

○記者 KKとほかの、1Fとかのほかのサイトというか、ほかのサイトとかほかの電力会社との対応というか体制の比較みたいなものが、今、議論としてされている。それについて調査があって、報告を受けて、非公開の場ですけれども、委員同士議論している状態という理解でいいですね。

○黒川総務課長 いろいろなほかの電力会社の状況みたいなものも調べています、そこに柏崎刈羽特有の何かがあったのかなかったのかみたいな、そういう議論がされていま

す。

それをどう整理するかは、まだいろいろ検査をして、こんな感じだと思いますというところで、何が特徴で何がみたいなのは、特にまだそこまで議論は進んでいないかと思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます。
た。

—了—